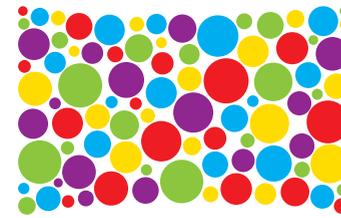


映画を創る力 つなぐ 未来へ。



映画のまち調布 シネマフェスティバル 2024

開催日程 2024年 1/26 fri → 2/18 sun

CHOFU



CINEMA



FESTIVAL 2024



©2022 「すずめの戸締まり」製作委員会 ©石森プロ・東映/2023 「シン・仮面ライダー」製作委員会 ©2022 映画「銀河鉄道2号」製作委員会 ©2022 「ラゲリより愛を込めて」製作委員会
©1989 清水香子 © 終あおい/集英社 ©2022 「耳をすませば」製作委員会 ©2022 「月の清みかけ」製作委員会 ©2022 「さかなのこ」製作委員会 ©2023 劇場版「TOKYO MER」製作委員会
©2024年「お終活 再春！」製作委員会 ©1992 Studio Ghibli・NN ©2023 Nintendo and Universal Studios ©2016 Summit Entertainment, LLC. All Rights Reserved.
©KADOKAWA 日本テレビ 博報堂 DYメディアパートナーズ/1995 ©1956 東宝 ©1991 東宝・ニチメン・フジクリエイティブ ©近代映画協会



グリーンホールには駐車場はありません。文化会館たづくりの駐車場(¥100/30分)をご利用ください

京王線・京王新線(都営新宿線乗り入れ) 新宿駅から特急で約16分
調布駅下車 中央口改札(広場口 出口)

- 調布市文化会館たづくり 徒歩4分
- 調布市グリーンホール 徒歩1分
- イオンシネマ シアタス調布【トリエ京王調布C館】 徒歩2分

来場者アンケート

映画のまち調布 シネマフェスティバル2024へのご来場ありがとうございます。詳しくはこちらから本イベントへのご意見・ご感想をWEBアンケートにて受付中です。アンケートと第7回日本映画人気投票にご回答頂いた方の中から抽選で、イオンシネマ映画鑑賞券や下高井戸シネマ映画鑑賞券などをプレゼント。



上映付帯情報記号	HM HELLO! MOVIE 音声ガイド・字幕ガイド対応の作品です。アプリをダウンロードした携帯機器または専用のメガネ型端末でご利用いただけます。音声ガイドの利用には、お手持ちのイヤホンの接続が必要です。一部未対応の機種があるため、事前に動作確認が必要です。	字 日本語字幕 日本語字幕付き上映作品です。	保 保育 保育サービス付きの上映作品です。1人1回1,000円。詳しくは、株式会社ママMATE東京支店(03-6913-8484)へ上映1週間前までにお申し込みください。
	PG12 PG12 12歳未満の方は保護者の助言・指導が必要です。	音 音声ガイド上映 音声ガイド上映(イヤホン付FMラジオ)貸出対応作品です。詳しくは、バリアフリー映画鑑賞推進団体シティ・ライツ(03-3917-1995)へご連絡ください。	上映前トーク 上映前トークショー付き上映作品です。 上映後トーク 上映後トークショー付き上映作品です。

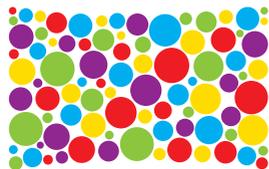
お問合せ 公益財団法人 調布市文化・コミュニティ振興財団
文化・コミュニティ事業課 TEL:042-441-6150

100年後の君へ

芸術文化振興基金

公式WEBサイト chofucinemafestival.com

公式メカアカウント @chofu_cinefes



映画のまち調布 シネマフェスティバル 2024

開催概要

素晴らしい映画制作の技術を未来につなげる映画祭です。「人気投票 × 映画技術者」の選考で受賞者を決定する「第6回映画のまち調布賞」授賞式をはじめ、映画制作の技術スタッフや監督によるトークショー付きの映画上映会、展示、ワークショップなど、さまざまなイベントを開催します。

開催期間 2024年1月26日(金)～2月18日(日)

会場 調布市文化会館たづくり、調布市グリーンホール、イオンシネマ シアタス調布

開催にあたり

このフェスティバルでは、調布市内に集積している映画・映像関連企業、団体と連携し、映画・映像をつくるまちならではのイベントを展開します。「映画のまち調布」のPRを行い、映画・映像を楽しむ機会を創出します。また、調布に根ざした映画の歴史や映像文化に触れることにより、芸術・文化の振興と、観光・産業などの分野と連携した地域活性化を目指します。

○主催：(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団/調布市

○企画・運営：映画のまち調布 シネマフェスティバル2024実行委員会

【株式会社アーク・システム、イオンエンターテイメント株式会社、株式会社石原音楽出版社、株式会社角川大映スタジオ、株式会社ジェイコム東京 調布局、株式会社ジャンゴフィルム、高津装飾美術株式会社、調布エフエム放送株式会社、調布市観光協会、調布市商工会、東映ラボ・テック株式会社、トリエ京王調布、日活調布撮影所 (以上 五十音順)、調布市、調布市教育委員会、(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団】

○後援：TOKYO FM、tvk、FMヨコハマ、京王電鉄株式会社、一般社団法人日本映画製作者連盟、協同組合日本映画製作者協会、調布市国際交流協会、調布市自治会連合協議会、調布パルコ

○協賛：株式会社 Ocean Blue Bird、京王不動産株式会社、下高井戸シネマ、TVer、東京オーヴァル京王閣、ピアノサロン&ピアノ教室【奏音の小箱】、ホッピービバレッジ株式会社 (五十音順)

○特別協賛：アフラック生命保険株式会社

○助成：芸術文化振興基金

「映画のまち調布」
について紹介するよ！



© 角川大映スタジオ

「映画のまち調布」 応援キャラクター ガチョラ

調布市制施行60周年記念特別番組「高寺成紀の怪獣ラジオ」のマスコットとして誕生した。2017年の調布観光フェスティバルで「映画のまち調布」応援キャラクターに任命されました。

ご挨拶

映画のまち調布 シネマフェスティバル実行委員会 名誉会長
長友貴樹 調布市長



多くの関係者の皆様のご尽力により、「映画のまち調布シネマフェスティバル2024」を開催できますことに心から感謝申し上げます。今回で6回目を迎える本事業は、かつて「東洋のハリウッド」と呼ばれた調布の映画産業・文化を継承し、未来につなげるイベントです。映画制作の技術者を顕彰する「映画のまち調布賞」受賞作品の上映をはじめ、監督や技術スタッフによるトークショー、映画制作を体験できるワークショップなど、「映画のまち調布」ならではの魅力あふれる企画をお楽しみください。

映画のまち調布 シネマフェスティバル実行委員会 名誉副会長
荻本貞臣 公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団 理事長



今年6回目を迎える「映画のまち調布 シネマフェスティバル2024」の開催に当たり、ご尽力を賜りました実行委員会をはじめ関係者の皆さまに心から御礼申し上げます。市民の皆さまと一緒にシネマフェスティバルを楽しむことを目的に実施した日本映画人気投票では、幅広い世代の皆さまから沢山の投票をいただきました。投票によって選出された上映作品の多くに、調布市内の映画・映像関連企業が関わっており、撮影の一部が調布で行われた作品もあります。本フェスティバルでは、映画を通して映画の作り手がより身近に感じられるような出逢いの場を提供しております。「映画のまち調布賞」授賞式をはじめ、作品上映、トークショー、展示、ワークショップなど、映画の作り手の生の声に触れられる機会を多数用意しておりますので、多くの皆さまのお越しを心からお待ちしております。

映画のまち調布 シネマフェスティバル実行委員会 委員長
佐伯知紀 映画映像研究者/NPO 法人映像産業振興機構顧問



調布は映画のまち。撮影所や現像所、美術をはじめ製作に関わる企業や人がこれほど集まる街は他にありません。映画は地場産業、文化資源、大切な資産です。映画をつくる、楽しむ、学ぶ、そして残す——この映画祭はその特徴を生かそうと考えました。投票数は15,237票を数え、今回も多くの方の参加を得ることができました。市民が作品を選びプロが優れた技術者を選ぶユニークな賞をもつ映画祭として更なる継続を目指します。

イベントスケジュール 1/26(金)~2/18(日)

会場 京王線・京王新線(都営新宿線乗り入れ)新宿駅から徒歩約16分 調布駅下車 中央口改札(広場口 出口)
 ●調布市文化会館たづくり 徒歩約4分 ●調布市グリーンホール 徒歩約1分
 ●イオンシネマ シアタス調布【トリエ京王調布C館】 徒歩約2分

会場	1/26(金)	1/27(土)	1/28(日)	2/1(木)	2/2(金)	2/3(土)	2/8(木)	2/10(土)	2/11(日)	2/12(月・休)	2/14(水)	2/17(土)	2/18(日)
文化会館たづくり	a9 CINE_WORKS 展 ―映画制作の世界― 1/26(金)~2/18(日) P17												
	a2 映画のまち調布受賞者紹介展示 1/26(金)~2/18(日) P9												
	a10 「映画のまち調布」みんなのワークショップ 見学 2/17(土)~2/18(日) P17												
	a11 「映画のまち調布」紹介&俳優サイン展示 2/10(土)~2/18(日) 10:00~19:00 P17												
	a12 国立映画アーカイブ「令和5年度アーカイブ中核拠点形成モデル事業」展示 御意見無用! 東映東京撮影所物語/関連展示:知られざる「日本映画博覧会」 2/10(土)~2/18(日) 10:00~19:00 P17												
エントランスホール (1階)													
むらさきホール (1階)													
北ギャラリー (2階)													
南ギャラリー (2階)													
くすのきホール (2階)	a5① 出張! 映画資料室「東京現像所という仕事」 2/10(土)~2/18(日) 10:00~19:00 P13												
映像シアター (8階)	a1 第6回映画のまち調布賞授賞式&「お終活 再春! 人生ラフソディ」先行特別上映 16:00 P6						a3 「大誘拐 RAINBOW KIDS」 10:00 P13		A2 「銀河鉄道の父」 10:30 P10		A4 「耳をすませば」 10:00 P11		A7 「さかなのこ」 10:00 P12
	a4 「空の大怪獣ラドン」(4K デジタルリマスター版) 14:00 P14						A4 「ラーゲリより愛を込めて」 15:30 P10		A5 「すずめの戸締まり」 14:00 P11		A8 「劇場版 TOKYO MER 走る緊急救命室」 15:30 P12		A6 「月の満ち欠け」 18:00 P11
a6 「映画の朝ごはん」 10:00 P16												a7 高校生フィルムコンテスト・調布ジュニア映画祭上映会 10:00 P16	
												a8 カナダ・ケベック州 関連作品上映会 上映:①13:30 ②16:30 P16	
イオンシネマ シアタス調布	B3 「ガメラ 大怪獣空中決戦」(4K デジタル復元版) 2/2(金)~2/8(木) P15						B4 「紅の豚」 2/10(土)~2/18(日) P15						
	B3② 「ガメラ 大怪獣空中決戦」SPECIALトーク付き上映 16:00(予定) P14						B5 「かくやびより」 12:00 P16						
	B1 「ザ・スーパーマリオブラザーズ・ムービー」 1/26(金)~2/8(木) P15												
B2 「ラ・ラ・ランド」 1/26(金)~2/1(木) P15													
グリーンホール							C2① ちょうふ親子映画 上映会 「11 ひきのねこ」 ①11:00 ②14:00 P18		C3 本名陽子&ゆーゆファミリーコンサート 14:00 P18		C4 オーケストラで聴く映画音楽~シネマ・パレタイン 14:00 P18		C1 「午後の遺言状」 13:00 P12
							C2② ちょうふ親子映画 上映会 ワークショップ 10:00~16:00 P18						

第6回 日本映画人気投票結果

約7か月にわたり募集した日本映画人気投票により「映画のまち調布 シネマフェスティバル2024」の上映作品と、映画賞「第6回映画のまち調布賞」の作品賞及び技術部門5賞（撮影・照明・録音・美術・編集）のノミネート作品を決定しました。

投票概要

- 投票対象者 調布市内在住・在勤・在学の方、シアタス調布に来場の方
投票期間 2023年1月27日～9月3日
対象作品 2022年9月1日から2023年8月31日までに国内の商業映画劇場で、有料で初公開された日本映画
投票回数 1人あたり1回の投票につき3作品まで・投票受付期間中に3回投票可能（最大9作品）

投票結果 投票総数 15,237票 有効投票作品数：169作品

- 1位 「すずめの戸締まり」
2位 「THE FIRST SLAM DUNK」
3位 「映画ドラえもん のび太と空の理想郷」
4位 「名探偵コナン 黒鉄の魚影」
5位 「ラーゲリより愛を込めて」☆

- | | |
|---------------------------------|--------------------------------------|
| 6位 「『鬼滅の刃』上弦集結、そして刀鍛冶の里へ」 | 16位 「沈黙のパレード」 |
| 7位 「耳をすませば」☆ | 17位 「怪物」 |
| 8位 「さかなのこ」☆ | 18位 「映画デリシャスパーティ♡プリキュア 夢みる♡お子さまランチ！」 |
| 9位 「Dr. コトー診療所」☆ | 19位 「土を喰らう十二か月」 |
| 10位 「シン・仮面ライダー」☆ | 20位 「わたしの幸せな結婚」 |
| 11位 「東京リベンジャーズ2 血のハロウィン編 -運命-」☆ | |
| 12位 「劇場版 TOKYO MER 走る緊急救命室」 | |
| 13位 「銀河鉄道の父」☆ | |
| 14位 「キングダム 運命の炎」☆ | |
| 15位 「月の満ち欠け」☆ | |

※☆マークは「第6回映画のまち調布賞」ノミネート作品



第7回日本映画人気投票 受付中！ キャンペーン参加はこちら→

来年開催予定の「映画のまち調布 シネマフェスティバル2025」の上映作品を決める第7回日本映画人気投票を受付中です。詳しくは公式サイトにて。キャンペーンも実施中。

第7回日本映画人気投票に投票し、シネフェス上映・イベントについてのアンケートを回答した方の中から、抽選でイオンシネマ映画鑑賞券や下高井戸シネマ映画鑑賞券が当たります。



第6回 Chofu Cinema Awards 映画のまち調布賞



この賞は、主に映画製作の現場を支える技術者や制作会社といった「映画のつくり手」に贈る賞です。映画・映像関連企業の集積する「映画のまち調布」にふさわしい映画賞として、映画文化、芸術、産業の振興に寄与した映画・映像作品及びその製作に貢献した者を顕彰します。

【技術部門各賞】

撮影賞、照明賞、録音賞、美術賞、編集賞

受賞対象

映画製作の現場を支える種々の技術者

選考方法

「映画のまち調布 シネマフェスティバル2024」で上映可能な人気投票上位10作品の実写映画をノミネート作品とし、各賞、映画製作において功績のある映画技術スタッフ等で構成する選考委員会で討議の上、受賞者を決定する。

選考委員

- 撮影賞 岩倉具輝、酒井隆史、磯貝昇利
- 照明賞 西野哲雄、長嶋建人、袴 宮信
- 録音賞 志満順一、中村 淳、小野寺湯、湯脇房雄、山本逸美、山本仁志
- 美術賞 安藤 篤、今井高司、齋藤 卓、丸山裕司、鈴木隆之
- 編集賞 石島一秀、鶴岡邦彦、川島章正

【作品賞】

選考方法

日本映画人気投票最上位作品とする。

【特別賞】

受賞対象

「映画のまち調布」の映画文化、芸術、産業の振興に多大なる貢献と顕著な実績を残した個人若しくは団体又は近年にめざましい活躍をした映画・映像関係者

選考方法

調布市内の映画・映像企業等で構成する選考委員会で討議の上、受賞者を決定する。

- 協力 協同組合日本映画撮影監督協会／協同組合日本映画・テレビ照明協会／協同組合日本映画・テレビ美術監督協会／協同組合日本映画・テレビ編集協会／日本映画・テレビ録音協会（五十音順）
- 審査試写会場提供 株式会社角川大映スタジオ

第6回映画のまち調布賞授賞式＆「お終活 再春！人生ラブソディ」先行特別上映 a1

日時：2/10(土) 授賞式 16:00 トーク付き上映 17:10

会場：文化会館たづくり くすのきホール

料金：全席指定 1,200円（授賞式・上映通し券）

司会：金児憲史（俳優）、楊原京子（俳優）

授賞式後にトーク付き上映会を開催します。

『お終活 再春！人生ラブソディ』

(2023/118分/DCP) 上映前トーク

脚本・監督：香月秀之

出演：高畑淳子 剛力彩芽 松下由樹 水野勝 鳳稀かなめ 西村まさ彦 石橋蓮司 長塚京三 橋爪功

トークゲスト：松下由樹、水野勝

香月秀之（脚本・監督）、川田亮（プロデューサー）

©2024年「お終活 再春！」製作委員会

結婚五十年の金婚式を無事終えた大原千賀子（高畑淳子）と夫の真一（橋爪功）。娘の亜矢（剛力彩芽）はキッチンカーの運営からシニア向け高級介護施設の栄養士に転身して仕事は順調、恋人の菅野涼太（水野勝）とも結婚目前。順風満帆な大原家だったが、千賀子が終活フェアで桃井梓（松下由樹）から「再春」を勧められ、独身時代に習っていたシャンソンを再開したことで思わぬ騒動が持ち上がる。そして真一にある症状が始まって、、、笑って、泣けて役に立つ、ヒューマンコメディ第二弾！

第6回映画のまち調布賞 受賞者



第6回
Chofu Cinema Awards
映画のまち調布賞

審査委員長総評

多くの観客に支持され「すずめの戸締まり」が作品賞を受賞した。ファミリー向けに止まらない内容の豊さと幅広さが日本のアニメーションの魅力だ。技術賞各賞は厳しくも暖かい評言が飛びかう、熱心な討議を経て、技術者目線ならではの選出が行われたことを報告しておきたい。詳細は選定理由の通りである。なお、図らずも録音賞で受賞者と選考委員が重なってしまったが、選考は厳正に行われたことを付記しておきたい。(実行委員長 佐伯知紀)

撮影賞 ^{みずぐち のりゆき} 水口智之 『月の満ち欠け』



選定理由

冒頭の主人公が八戸港を歩くシーンにもみられるように、シネスコの横長の画面のなかに、フレーム内の人物の動きとその背景となる景物が的確に配置され、全体としても落ち着いており、観客を違和感なく物語の世界に導いていた。照明との連携も優れており、ナイトシーンでは見せるべき室内の人間を捉えつつ、屋外の月も意識させる余白のある画づくりが美しい。撮影現場のスケールや雰囲気感を自然に、かつ巧みに表現して作品世界を支えた堅実な仕事を評価したい。

経歴

2003年 第43回三浦賞受賞(『ドッベルゲンガー』) 2009年 ワインカントリー映画祭 2009最優秀ワールドシネマ作品賞、最優秀撮影賞受賞(『禅 ZEN』)
主な作品:『ドッベルゲンガー』『奇談』『恋する日曜日 私。恋した』『禅 ZEN』『おのぼり物語』『ここは退屈迎えに来て』『Mellow』

照明賞 ^{さとう こうた} 佐藤浩太 『銀河鉄道の父』



選定理由

宮沢賢治が成長していく明治大正期のランタン、裸電球などのあかりや、日暮れから宵闇に向かう気配を、照明設計上の色合いや明暗の違いなどで最大限に引き出していた。俳優の顔を照らす炎の揺らめきなど、登場人物の心情に寄り添う照明は物語への没入を促している。ほの暗い画面の中で明るさの細かな差を出すことは難しいのだが、ナイトシーンではしっとりとした空気になじむように障子の白色が抑えられ、映画に情感を与えていた。縁側で話す父子に流しこまれる光は二人の愛情を感じさせる絶妙のライティングだった。

経歴

東京理科大中退。1997年松竹大船撮影所入社。まもなくフリーの照明助手として渡邊孝一氏に師事、2007年『ガチ☆ボーイ』で照明技師になる。
主な作品:『ヘルタースケルター』『TOKYO TRIBE』『予告犯』『TOO YOUNG TO DIE! 若くして死ぬ』『チワワちゃん』『望み』『ゴールデンカムイ』

録音賞 ^{ゆわき ふさお} 湯脇房雄 『劇場版 TOKYO MER 走る緊急救命室』



選定理由

爆発音や衝撃音など多くの音が入り乱れる火災現場でのマスク越しの会話など収録難度が高い撮影現場でありながら、リアリティのある状況表現とセリフの明瞭性を見事に両立させていた。全編を通して音楽、セリフ、効果音のバランス調整が絶妙であり、展開を盛り上げると同時に、観客を自然に物語へと引き込んでいる。映画館の環境を十全に活かした音づくりで作品を「映画」たらしめている、素晴らしい録音技術である。

経歴

2009年 第9回日本映画テレビ技術協会 映像技術賞(録音)受賞(『ハゲタカ』)
主な作品:『レジェンド&バタフライ』『るろうに剣心 最終章 The Final』『るろうに剣心 最終章 The Beginning』『億男』『刀剣乱舞-黎明-』『刀剣乱舞-継承-』『オズランド 笑顔の魔法教えます。』『ブルーハーツが聴こえる』『岳』『恋空』

美術賞 ^{そうま なおき} 相馬直樹 『耳をすませば』



選定理由

セット細部の質感にまでこだわった丁寧な仕事ぶり、統一感のある美意識の下に創り出された作品世界が素晴らしい。とくに地球屋は、化粧柱(表に見える柱)が全体を引き締めつつ、暗がりではっきり見えない小物もセレクトされていることを感じさせており、装飾の腕を評価したい。コロナ禍でイタリアロケができなかったため国内施設が使われていたが、巧みにヨーロッパの雰囲気をつくり出していた。壁の漆喰が薄くなってレンガの線が見えているところや床のタイルなどは、実にリアリティのある仕上がりとなっていた。

経歴

東宝特撮で美術助手を経験した後、池谷仙克氏に師事しキャリアを積む。その後、映画、CM、MVの美術を手掛ける。
主な作品:『サマータイムマシン・ブルース』『交渉人 真下正義』『20世紀少年』『漫才ギャング』『荒川アンダーザブリッジ THE MOVIE』『窮鼠はチーズの夢を見る』『劇場』[HOKUSAI]『由宇子の天秤』『ちょっと思い出しただけ』等

編集賞 ^{かんの しおり} 菅野詩織 『劇場版 TOKYO MER 走る緊急救命室』



選定理由

東京と横浜チーム、高層ビルの上層階と地上という二つの対比をストーリーの軸として、緊張感のある場面が次から次と展開する、テンポの良い編集は完成度が高い。いくつものシーンを交互に見せるシーンバックの手法で観客の疑問をしっかりと補いながら、ドラマの展開を着実に追っていく。観客の視点に立った編集を現していた。芝居のリズムと俳優のリズムがシンクロしていた。医療ドラマらしく施術シーンを丁寧につないでいたことにも好感ももてる。

経歴

1990年埼玉県出身。東放学園専門学校を卒業後、2012年に制作会社へ入社。旧(株)東通のドラマ編集部へ派遣され、デジタルズ、PR編集を担当。その後フリーランスを経験し、2021年に旧(株)東通へ入社。現在、TBS アクトにてドラマのオフライン編集に従事。
主な作品:TBS 日曜劇場『TOKYO MER 走る緊急救命室』、TBS 日曜劇場『アトムの子』、TBS 日曜劇場『テセウスの船』、TBS 金曜ドラマ『ペンディングトレイン』、TBS 金曜ドラマ『フェルマーの料理』、NHK『やっぱりおいしい刑事』

特別賞 株式会社東京現像所



2023年11月30日

選定理由

1955年、映画用フィルムの現像所として調布市内に設立。精緻な色補正や合成は多くの監督の信頼を得て、東宝作品はもとより小津安二郎のカラー作品、松竹の『男はつらいよ』シリーズ、北野武作品など数々の名作を生み出してきた。近年はVFX、デジタルシネマなどの多様な分野で国内外の映像作品に携わり、黒澤明作品など旧作のデジタルリマスター作業も担当した。設立以降ポストプロダクションの要として、日本映画を支え続けてきた東京現像所は、「映画のまち調布」においても誇りとなる存在である。

社歴

1955年4月22日、多様な最新機材を揃えたフィルム現像所としてスタート。高い技術力が評価され、高品質な現像、プリントサービスを永年に渡り安定的に提供し続けた。80年代に最盛期を迎えたTVアニメ現像はシェア70%近くまで達した他、90年代以降急速に進むデジタル化にも積極的に対応。最新技術を開発し様々な映像表現に貢献した。旧作を4Kリマスターするアーカイブ事業にも注力し、数々の名作を公開当時の姿で甦らせ、映画ファンを楽しませている。2023年11月末を以てその歴史に幕を下ろし、惜しまれながら全事業を終了することとなった。

特別賞 新藤次郎 (プロデューサー)



選定理由

日本大学芸術学部を卒業、三船プロダクション等を経て、1986年に(株)近代映画協会に入社。父である新藤兼人監督の作品を中心とする同社において、映画プロデューサー、また代表取締役として、『さくら隊散る』(1988)『午後の遺言状』(1995)などの優れた芸術映画を制作し、日本映画の豊かな魅力と多様性を示した。また、独立プロの協同組合、日本映画製作者協会の代表理事を長く務め、諸課題の解決に尽力。くわえて、製作現場の労働環境の改善をめざす「日本映画制作適正化機構」の初代理事を務めるなど、幅広い活動で映画界の発展に貢献した。

経歴

日本大学芸術学部写真学科卒。三船プロダクションを経て近代映画協会にてプロデューサーとなる。新藤兼人賞プロデューサー賞・藤本賞・芸術選奨文部大臣賞・牧野省三賞受賞。主な作品：『溼原綺譚』『午後の遺言状』『生きたい』『三文役者』『ふくろう』『サヨナラCOLOR』『石内尋常高等小学校 花は散れども』『一枚のハガキ』『鳥々清しや』



昨年の展示の様子

映画のまち調布賞受賞者紹介展示

日時：1/26(金)～2/18(日) 会場：エントランスホール
映画の作り手を顕彰する「映画のまち調布賞」受賞者を紹介するパネル展です。受賞作品の制作秘話や、各技術者のお仕事の内容などを紹介します。

上映 日本映画人気投票選出作品

2023年1月～9月に実施した「第6回日本映画人気投票」の上映作品の中から、選りすぐりの映画を上映します。
会場：くすのきホール 料金：前売券500円 当日券800円



©石森プロ・東映/2023「シン・仮面ライダー」製作委員会

『シン・仮面ライダー』

(2023/121分/DCP) 上映後トーク 字 HM 保 PG12

脚本・監督：庵野秀明
出演：池松壮亮、浜辺美波、柄本佑

日時：2/11(日) 18:00～
トークゲスト：藤原カクセイ(特殊メイクアップ・デザイナー)
※トークショーは手話通訳付

秘密結社 SHOCKER の手によって、人間離れた殺傷能力と暴力性を持つオーグメントと化した主人公・本郷猛(池松壮亮)は、組織から生まれるも反旗を翻した緑川弘(塚本晋也)の娘・ルリ子(浜辺美波)の導きで脱走する。そして本郷は、次々と迫り来る刺客たちとの壮絶な戦いに巻き込まれていく……。



©2022映画「銀河鉄道の父」製作委員会

『銀河鉄道の父』

(2022/128分/DCP) 上映後トーク HM 保

監督：成島出 原作：門井慶喜「銀河鉄道の父」(講談社文庫)
脚本：坂口理子
出演：役所広司、菅田将暉、森七菜、豊田裕大、坂井真紀、田中湊

日時：2/12(月・休) 10:30～
トークゲスト：佐藤浩太(照明)

宮沢賢治の父・宮沢政次郎。父の代から富裕な質屋で、長男である賢治は家を継ぐ立場だが、適当な理由をつけてはそれを拒む。学校卒業後は、農業や人造宝石、宗教と我が道を行く賢治。政次郎は厳格な父親であろうと努めるも、つい甘やかしてしまう。やがて、妹・トシの病気を機に、賢治は筆を執るも……。



©2022「ラーゲリより愛を込めて」製作委員会
©1989清水香子

『ラーゲリより愛を込めて』

(2022/133分/DCP) 字 HM 保

原作：『収容所(ラーゲリ)から来た遺書』(辺見じゅん著/文春文庫刊)
監督：瀬々敬久 脚本：林民夫
出演：二宮和也、北川景子、松坂桃李、中島健人、寺尾聰、桐谷健太、安田顕 ほか

日時：2/12(月・休) 15:30～

終戦後、極寒のシベリアの強制収容所に抑留された山本幡男は、過酷な日々を過ごすなか、日本にいる妻モジミと約束した帰国(ダモイ)を誰よりも強く信じ、多くの抑留者たちを激励し続ける。山本の仲間思いの行動と信念は、希望を見失いつつあった日本人たちの心を動かしていく……。

上映 日本映画人気投票選出作品

2023年1月～9月に実施した「第6回日本映画人気投票」の上映作品の中から、選りすぐりの映画を上映します。

会場：くすのきホール 料金：前売券 500円 当日券 800円



© 柘あおい/集英社 ©2022「耳をすませば」製作委員会

美術賞

『耳をすませば』

(2022/115分/DCP) 上映後トーク HM 保

監督・脚本：平川雄一朗
原作：柘あおい「耳をすませば」(集英社文庫(コミック版)刊)
出演：清野菜名、松坂桃李、山田裕貴、内田理央

日時：2/17(土) 10:00～
トークゲスト：相馬直樹(美術)、田中宏(装飾)

読書が大好きで元気いっぱいな中学生の女の子・月島雫。図書貸出カードでよく見かける、天沢聖司という名前が頭から離れなかった。“最悪の出会い”を果たした二人だが、次第に惹かれていく雫。ある日聖司からイタリアに渡ると打ち明けられ、それぞれの夢を追いかけて、また必ず会おうと誓い合う。

A4



©2022「さかなのこ」製作委員会

『さかなのこ』

(2022/139分/DCP) 上映後トーク HM 保

監督・脚本：沖田修一 脚本：前田司郎
原作：さかなクン「さかなクンの一魚一会 ～まいにち夢中な人生！～」(講談社刊)

出演：のん、柳楽優弥、夏帆、磯村勇斗、井川遥

日時：2/18(日) 10:00～
トークゲスト：沖田修一(監督)、西ヶ谷寿一(プロデューサー)

お魚が大好きな小学生・ミー坊は、応援し続ける母親に背中を押されながらのびのびと大きくなった。高校生になり、まるで主人公のようにみんなの中心にいたが、卒業後は、お魚の仕事がしたくてもなかなかうまくいかず悩んでいた。お魚への「好き」を貫き続けるミー坊は、出会いと優しさに導かれ、ミー坊だけの道へ飛び込んでゆく。

A7



©2022「すずめの戸締まり」製作委員会

作品賞

『すずめの戸締まり』

(2022/121分/DCP) HM 保

原作・脚本・監督：新海誠
声の出演：原菜乃華、松村北斗、深津絵里、染谷将太、伊藤沙莉、花瀬琴音、花澤香菜、松本白鸚

日時：2/17(土) 14:00～

九州の静かな町で暮らす17歳の少女・鈴芽(すずめ)は、「扉を探してるんだ」という旅の青年・草太に出会う。彼の後を追って迷い込んだ山中の廃墟で見つけたのは、ぼつんとたたずむ古ぼけた扉。なにかに引き寄せられるように、すずめは扉に手を伸ばすが…。

A5



©2023 劇場版「TOKYO MER」製作委員会

録音賞

編集賞

『劇場版 TOKYO MER 走る緊急救命室』

(2023/128分/DCP) 上映後トーク 字 HM 保

監督：松木彩 脚本：黒岩勉
出演：鈴木亮平、賀来賢人、中条あやみ、要潤、小手伸也、佐野勇斗、ジェシー(SixTONES)ほか

日時：2/18(日) 15:30～
トークゲスト：湯脇房雄(録音)、菅野詩織(編集)
※トークショーは手話通訳付

横浜のランドマークタワーで爆発事故が発生。数千人が逃げ惑う未曾有の事態に陥る中、東京都知事直轄の救命医療チーム「TOKYO MER」のチーフドクター・喜多見は現場へ急行することを主張するが、「YOKOHAMA MER」の鴨居チーフは安全な場所での待機を主張する。そんな中、爆発は連鎖し重傷者が増えていく…。

A8



©2022「月の満ち欠け」製作委員会

撮影賞

『月の満ち欠け』

(2022/128分/DCP) 上映後トーク HM 保

監督：廣木隆一 脚本：橋本裕志
原作：佐藤正午「月の満ち欠け」(岩波書店刊)
出演：大泉洋、有村架純、目黒蓮(Snow man)、伊藤沙莉、田中圭、柴咲コウ

日時：2/17(土) 18:00～
トークゲスト：廣木隆一(監督)、水口智之(撮影)

現代を生きる、愛する妻子を亡くした男性・小山内と、27年前にある女性と許されざる恋をした男性・三角。無関係だった彼らの人生が、「瑠璃」という名の女性の存在で交錯する。「愛する人にもう一度めぐり逢いたい」という想いが起こした“奇跡”が紡ぐ、数奇で壮大なラブストーリー。

A6

フィルム名画上映



© 近代映画協会

特別賞 新藤次郎(プロデューサー)関連作品

『午後の遺言状』

(1995/112分/35mm) 上映後トーク 保

監督・脚本：新藤兼人 製作：新藤次郎
出演：杉村春子、乙羽信子、朝霧鏡子、観世榮夫、瀬尾智美、松重豊

日時：2/18(日) 13:00～
会場：グリーンホール 大ホール
トークゲスト：新藤次郎(プロデューサー)、近代映画協会 代表取締役)

新劇のベテラン女優・森本蓉子と、夫に先立たれ一人娘と暮らす藝科の別荘の管理人・柳川豊子。そこへ古い演劇仲間友人登美江とその夫が訪れる。数十年ぶりの再会を喜ぶ蓉子だったが、登美江は痴呆症になっていた。避暑地を舞台に老人たちの人間模様をユーモアたっぷりに描き、さわやかな感動を呼ぶ。

c1

特集 ありがとう 東京現像所



東京現像所が、営業を終了した。1955年以来、調布の地にあって、映画・映像産業を技術的に支えてきたラポだ。

(会社の概要はP9参照)

本映画祭では、長年の映画業界への貢献を「第6回映画のまち調布賞」の「特別賞」を贈賞することで顕彰するとともに、特集上映と特別展示においてもその業績を紹介する。

特集上映の作品は2本。1本は、東京現像所で仕上げを行った『大誘拐』(1991/監督：岡本喜八)。もう一本は『空の大怪獣ラドン』(1956/監督：本多猪四郎・特技監督：円谷英二)。2022年に行われた4Kデジタル修復作業を東京現像所が担当した。

特別展示では、東京現像所の仕事を中央図書館の独自取材で紹介する。

特集 調布特撮大戦



岩田屋ビルの再現ミニチュア
監修：三池敏夫(特撮研究所) ミニチュア制作：マープリング・ファインアーツ
協力：井上泰幸遺族会

実は調布は特撮映画と縁が深い。

『ガメラ』を生んだ大映撮影所(現・角川大映スタジオ)や過去作品をデジタル修復してきた東京現像所をはじめ多くの特撮関連会社が調布に存在する。東京現像所の営業終了により、拠点のひとつを失うことになるが、この機会に特集上映と展示で「調布と特撮映画」に焦点を当てる。

特集上映の作品は3本。1本は、『空の大怪獣ラドン』。1本は、日本映画人気投票で選出の『シン・仮面ライダー』(2023/監督：庵野秀明)。調布にあるダミーヘッドデザインズが造形を担当。もう1本は、『ガメラ 大怪獣空中決戦』(1995/監督：金子修介・特技監督：樋口真嗣)。日本特撮映画を変えた衝撃作は調布の大映撮影所で制作された。

また、たづくりエントランスホールでのCINE_WORKS展には2022年の井上泰幸展で紹介された『空の大怪獣ラドン』の岩田屋ビルの復元模型も展示される。



『大誘拐 RAINBOW KIDS』 a3

(1991/119分/35mm) 上映後トーク 保 音

監督：岡本喜八 脚本：岡本喜八
出演：風間トオル、内田勝康、西川弘志、北林谷栄、樹木希林、緒形拳 ほか

日時：2/11(日) 10:00～
会場：文化会館たづくり くすのきホール
料金：前売券 500円/当日券 800円
トークゲスト：岡本みね子(プロデューサー)、矢部勝(東京現像所代表取締役社長)

©1991 東宝・ニチメン・フジクリエイティブ

紀州の山林王で82歳の大富豪・柳川とし子が、レインボー・キッズと名乗る若者3人組に誘拐された。すると、老婆は自ら身代金を100億円にするよう犯人に要求。その老婆を自らの恩人と慕う鬼の県警本部長は、そんな実情も知らずに捜査を開始して…。



『空の大怪獣ラドン』 a4

〈4Kデジタルリマスター版〉
(1956/82分/DCP) 上映後トーク 保

監督：本多猪四郎
特技監督：円谷英二
脚本：村田武雄
出演：佐原健二、白川由美、小堀明男、村上冬樹、平田昭彦、中田康子 ほか

日時：2/11(日) 14:00～
会場：文化会館たづくり くすのきホール
料金：前売券 500円/当日券 800円
トークゲスト：三池敏夫(特撮美術監督)、清水俊文(元 東京現像所 営業部長 兼 アーカイブマネージャー)

©1956 東宝

正体不明の飛行物体による航空事故が勃発。それは阿蘇の地下洞窟に眠っていた太古の翼竜が大气中の放射性元素の増加により怪獣として甦ったラドンによるものだった。音速で飛ぶラドンの衝撃波は地上のものを破壊し尽くしていく。果たして人類はラドンを撃滅することができるのか。

1階エントランスホールでは、劇中に登場した岩田屋ビルの再現ミニチュアを展示します。

出張！映画資料室「東京現像所という仕事」

a5①



日時：2/10(土)～2/18(日)
10:00～19:00

会場：文化会館たづくり 南ギャラリー 入場無料
2023年11月末に惜しまれながら閉所した(株)東京現像所の内部に迫ります。調布の地で68年間、映画の完成と日本映画界の栄枯盛衰を見届けてきた東京現像所。閉所前に中央図書館で独自に記録写真撮影とインタビューを行いました。なかなか表に出ることのなかった技術者たちの仕事を、ぜひこの機会にご覧ください！

『シン・仮面ライダー』 A1



©石森プロ・東映/2023「シン・仮面ライダー」製作委員会

日時：2/11(日) 18:00～
会場：文化会館たづくり くすのきホール
【造形：ダミーヘッドデザインズ】 →P10参照

『ガメラ 大怪獣空中決戦』〈4Kデジタル復元版〉 B3



©KADOKAWA 日本テレビ 博覧堂DYメディアパートナーズ/1995 →P15参照

日時：2/2(金)～2/8(木)
会場：イオンシネマ シアタス調布

SPECIALトーク付き上映 B3②
2/3(土) 16:00(予定)
※詳細はホームページをご覧ください。
トークゲスト：金子修介(監督)
料金：1,800円

CINE_WORKS展 日時：1/26(金)～2/18(日)
会場：文化会館たづくり エントランスホール →P17参照

セレクション作品上映

会場：イオンシネマ シアタス調布

※上映時間はシアタス調布 WEB サイトをご覧ください。

「映画のまち調布 シネマフェスティバル2024」実行委員会で選出した名作を上映します。



© 2023 Nintendo and Universal Studios
※吹替版での上映となります。

『ザ・スーパーマリオブラザーズ・ムービー』^{B1}

(2023/94分 /DCP)

脚本：マシュー・フォーゲル

監督：アーロン・ホーヴァス、マイケル・ジェレニック

出演：クリス・プラット、アニャ・テイラー＝ジョイ、チャーリー・デイ、
ジャック・ブラック、キーガン＝マイケル・キー ほか

日時：1/26(金)～2/8(木)

料金：一般 1,800円、大学生 1,500円、高校生以下 1,000円

ニューヨークで配管工を営む双子の兄弟マリオとルイージ。謎の土管で迷いこんだのは、魔法に満ちた新世界。はなればなれになってしまった兄弟が、絆の力で世界の危機に立ち向かう。



『ラ・ラ・ランド』(2017/128分 /DCP)^{B2}

監督・脚本：デミアン・チャゼル

出演：ライアン・ゴズリング、エマ・ストーン、ジョン・レジェンド、
ローズマリー・デウィット、J・K・シモンズほか

日時：1/26(金)～2/1(木)

料金：一般・大学生 1,100円 高校生以下 1,000円

© 2016 Summit Entertainment, LLC. All Rights Reserved.

夢追い人が集まる街L.A.(ロサンゼルス)。映画スタジオのカフェで働くミア(エマ・ストーン)は女優を目指していたが、何度オーディションを受けても落ちてばかり。ある日、ミアは場末のバーでピアノを弾くセバスチャン(ライアン・ゴズリング)と出会う。彼はいつか自分の店を持ち、本格的なジャズを思う存分演奏したいと願っていた。やがて二人は恋におち、互いの夢を応援し合うが、セバスチャンが生活のために加入したバンドが成功したことから、二人の心はずれ違い始める…。



『ガメラ 大怪獣空中決戦』(1995/95分 /DCP)^{B3}

〈4Kデジタル復元版〉※シアタス調布では2K上映となります。

監督：金子修介 特技監督：樋口真嗣

出演：伊原剛志、中山忍、藤谷文子、螢雪次朗、本田博太郎、
本郷功次郎、小野寺昭

日時：2/2(金)～2/8(木) ※2/3にSPECIALトーク付き上映アリ(P14参照)

料金：一般・大学生 1,100円 高校生以下 1,000円

© KADOKAWA 日本テレビ 博報堂 DY メディアパートナーズ/1995

太平洋上で巨大漂流環礁が発見されたころ、九州の姫神島で謎の住民消失事件が発生。「鳥！…鳥！……」という無線を最後に消息が途絶えたことから、調査に訪れた鳥類学者・長峰真弓は、そこで巨大怪鳥を目撃する。一方、海上保安庁の米森と保険会社の草薙は環礁上にあった石板の碑文を解読。その結果、環礁がガメラ、怪鳥がギャオスという古代怪獣であることが判明し……。



『紅の豚』(1992/93分 /DCP)^{B4}

原作・脚本・監督：宮崎 駿

プロデューサー：鈴木敏夫

音楽：久石 譲 主題歌：加藤登紀子

声の出演：森山周一郎 加藤登紀子 桂三枝 上條恒彦 岡村明美 大塚明夫

日時：2/10(土)～2/18(日)

料金：一般・大学生 1,300円、高校生以下 1,000円

1920年代末、アドリア海。それはけっして「古き良き時代」などではなく、食い詰めた飛行艇乗りは空賊となって暴れ回り、彼らを相手に賞金稼ぎは功を競った。その中に、賞金稼ぎとして最も名を上げていた一匹の豚、ボルコ・ロッソ＝紅の豚がいた。ボルコをとりまく女性たち、空賊との戦い、宿命のライバル、そして全編を彩る空を飛ぶロマン。

© 1992 Studio Ghibli・NN

調布市文化会館たづくり 上映イベント



© ジャンゴフィルム

『映画の朝ごはん』^{a6}

(2023/131分 /Blu-ray) 上映後トーク

監督・企画・撮影・編集：志子田 勇

日時：2/10(土) 10:00(開場 9:30)

会場：8階 映像シアター

トークゲスト：志子田 勇 (監督)

料金：全席自由 前売券 500円 当日券 800円

主催：(株)ジャンゴフィルム

食と映画。二つの交わりを描いた“ひと味違った”ドキュメンタリー。

長年に渡り映画やドラマの撮影現場で愛され続け、映像業界に知らぬ者はいないというほど定番化している伝説のお弁当屋さん「ポパイ」と「映画・ドラマの撮影現場」にフォーカスした異色のドキュメンタリー「映画の朝ごはん」を特別上映します。



高校生フィルムコンテスト・ 調布ジュニア映画塾上映会^{a7}

「第17回高校生フィルムコンテスト in 映画のまち調布」上映審査会の最優秀作品賞受賞作品及び「第14回調布ジュニア映画塾」制作作品の上映会を開催します。

日時：2/18(日) 10:00～11:00 (開場 9:30)

会場：8階 映像シアター

定員：100人 入場無料



カナダ・ケベック州関連作品上映会^{a8}

調布市との包括連携に関する共同宣言に基づき、カナダ・ケベック州に関連する映画を上映します。今回の上映作品は、『ファルコン・レイク』『人生、ブラボー！』です。上映後、ケベック映画に関するプチ講座も開催します。

上映イベント①『ファルコン・レイク』②『人生、ブラボー！』

日時：2/18(日) ①13:30～②16:30～ ※各回 30分前開場

会場：8階 映像シアター

定員：100人 入場無料

シアタス調布 上映



© 2022 All Right Reserved by Tsumura Kazuhiko office

『かぐやびより』^{B5}

(2023/105分 /DCP) 上映後トーク 音

日時：2/10(土) 12:00～ 会場：スクリーン1

料金：1,000円(事前申込制)

トークゲスト：津村和比古(監督・撮影・編集)

様々な障がいを抱えた人が来る福祉施設「さんわーかくぐや」は来るものを拒まず、四季折々の暮らしの中で豊かな支援を行っています。三年半にわたりその営み取材したドキュメンタリー。
主催：調布市福祉作業所等連絡会(042-481-3201)、CIL ちょうふ(042-446-0683)

申込はこちら



調布市文化会館たづくり 開催イベント 入場無料



岩田屋ビルの再現ミニチュア 監修：三池敏夫(特撮研究所) ミニチュア制作：マーブリング・ファインアーツ 協力：井上幸彦遺族会

CINE_WORKS展—映画制作の世界— a9

日時：1/26(金)～2/18(日) 会場：エントランスホール
映画づくりに関わるスタッフの仕事を紹介し、映画の世界観を作り出す美術の設計図面やアイデアスケッチのほか、『シン・仮面ライダー』から仮面ライダーのマスクやベルト、『耳をすませば』の小道具、『ラーゲリより愛を込めて』の衣裳や小道具、『空の大怪獣ラドン』で登場する岩田屋ビルの再現ミニチュアなど、上映作品に関連した展示を実施。また市内企業「ダミーヘッドデザインズ」の仕事も紹介します。



「映画のまち調布」 みんなのワークショップ a10

映画・映像業界のプロが作成した短編映像作品の台本・セットに沿って、撮影準備から本番撮影までを、「撮影」「照明」「録音」「美術」「演出」に分かれて体験できる映画制作のワークショップを開催します。ワークショップの様子を見学することができます。

日時：2/17(土)・2/18(日)
会場：1階 むらさきホール
※見学についてはWEBサイトをご覧ください。



「映画のまち調布」紹介&俳優サイン展示 a11

日時：2/10(土)～2/18(日) 10:00～19:00
会場：2階 北ギャラリー
「映画のまち調布」の紹介と、これまでに調布市で撮影された映画・映像作品の紹介、俳優のサインやポスターなどを展示します。

提携事業：国立映画アーカイブ「令和5年度アーカイブ中核拠点形成モデル事業」展示 a12 御意見無用！東映東京撮影所物語／関連展示：知られざる「日本映画博覧会」



令和4年度展示風景

日時：2/10(土)～2/18(日) 10:00～19:00 会場：2階 北ギャラリー
国立映画アーカイブ「アーカイブ中核拠点形成モデル事業」の調査結果を元にした貴重な映画資料の展示。東映東京撮影所で確認された映画脚本、美術資料等を通じて、同所の歴史を紹介します。また1957年に愛知県・犬山市で開催された知られざる大イベント「日本映画博覧会」の一端を企画書等と共に紹介します。
主催：国立映画アーカイブ 運営：特定非営利活動法人映像産業振興機構

出張！映画資料室 a5①

日時：2/10(土)～2/18(日) 10:00～19:00
会場：2階 南ギャラリー

→P13 参照

シネフェスコラボ展示 a5②

日時：2/25(日)まで
会場：市内図書館全館
上映作品に関連したミニ展示を図書館各分館で行います。

調布市グリーンホール 開催イベント



ちょうふ親子映画上映会 上映会満員御礼 C2①

子どもたちの映画デビューの場となる親子で楽しめる映画上映会を開催します。映画上映のほか、子ども向けのワークショップも同時開催します。
映画上映会：「11びきのねこ」(1980年83分)
監督：前田庸生
日時：2/11(日)①11:00 ②14:00 ※各回 45分前開場
会場：大ホール



ワークショップ ①映画の原理・ソーマトロップをつくろう！ C2②

- ②ねこのくんしょうをつくろう！
 - ③さかなをつかまえてみよう！
 - ④はんこをおしてはがきをかんせいしよう！
- 日時：2/11(日)10:00～16:00**
会場：小ホール 入場無料

本名陽子&ゆーゆファミリーコンサート C3



スタジオジブリ映画『耳をすませば』主題歌「カントリー・ロード」の歌手で主人公・月島雫役の声優を務めた本名陽子さんと、『となりのトトロ』『天空の城ラピュタ』の主題歌を歌われた井上あずみさんの娘・ゆーゆさんによる家族で楽しめるコンサートです。

日時：2/12(月・休) 14:00
会場：大ホール
特別協賛：アフラック生命保険株式会社
入場無料 申込期限：1/24(水)



「生きる」を創る。



オーケストラで聴く映画音楽～シネマ・バレンタイン C4



ストラディヴァリウスが奏でる“マイ・ハート・ウィル・ゴー・オン”映画のまち調布 シネマフェスティバル2024の関連企画として、バレンタインデーにピッタリの映画音楽をお贈りします！

日時：2/14(水) 14:00
会場：大ホール
出演：永峰高志(指揮&ヴァイオリン)、
N響団友オーケストラ(弦楽オーケストラ)、
片岡一郎(ご案内・活動写真真弁士)
曲目：♪美女と野獣 ♪ニューシネマパラダイス
♪アナと雪の女王～レット・イット・ゴー ほか
※演奏曲は変更になる場合があります
料金：全席指定 S席 4,500円 A席 3,500円
発売：チケットCHOFU 042-481-7222

名画から話題作まで様々な国の良質な作品を上映している映画館です

下高井戸シネマ

世田谷区松原 3-27-26-2F TEL:03-3328-1008

★毎週火曜日 & 毎月1日みなさま 1100円均一!

●2月上映作品●

鈴木清順生誕100年記念 / 月 / ガッジョ・ディーロ / ジャム DJAM / さよならほやマン / パトリシア・ハイスミスに恋して / 愛にイナズマ / アンダーグラウンド / 旅するローマ教皇 / 私がやりました / アンダーカレント / エリック・クラプトンアクロス 24 ナイツ / 蟻の王 / 理想郷 / ヨーロッパ新世紀 / ジャン・ユスターシュ映画祭ほか

TVer

おうちのテレビでいつでも好きなテレビ番組が楽しめる!

テレビでもTVerキャンペーン

簡単&手軽にテレビの大画面でTVerを利用する方法をご紹介します!

会場	調布市文化会館 たづくりくすのきホールロビー
日時	2/11(日・祝)・12(月・振替)・17(土)・18(日) 上映イベント開催時

TVerって知ってる? アンケートに答えて素敵なプレゼントをもらおう!

登録一切不要! 誰でも参加可能な無料キャンペーン!

BE HAPPY WITH HOPPY

いまこそ、奇跡の星「地球」のためにできることを

しあわせつないで118年
ホッピービバレッジ株式会社
www.hoppy-happy.com

協賛：株式会社 Ocean Blue Bird、京王不動産株式会社、下高井戸シネマ、TVer、東京オーヴァル京王閣、ピアノサロン&ピアノ教室【奏音の小箱】、ホッピービバレッジ株式会社（五十音順）

オール調布ロケ作品

調布発の若手映画監督
最新作『たゆたのうた』
初劇場上映

プロデューサー：稲田美袖
監督・脚本・編集：稲田百音
主演：与謝野久璃子 秋宮はるか

日時：2月11日（日）18:30 上映開始～20:00 終了予定
会場：イオンシネマシアタス調布
チケット情報：①通常チケット 1000円
②パンフレット付きチケット 1500円
*各種チケットは開場後販売開始 *②はなくなり次第販売終了

◎チケット予約は右のQRコードからお願いします
*QRコードが読み取れない場合は、右のE-mailにお問い合わせください。

上映後に、プロデューサー・監督・キャストの舞台挨拶を行います!
映画・映像に関心のある方は、ぜひ観に来てください!

【お問い合わせ】
映画『たゆたのうた』公開準備委員会
tayutanouta2023@gmail.com

映画・TV・演劇・CM・小道具レンタル
イベント企画運営までプロデュース致します

TAKATSU Co., Ltd
高津装飾美術株式会社

〒182-0022 東京都調布市国領町1-30-3
TEL:042-484-1161 / FAX:042-484-1186
http://www.takatsu-web.co.jp/
E-mail:event@takatsu-web.co.jp

Irie KEIO CHOFU

平素は、格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当SCは「調布らしい“ちょっとステキ”な生活」をコンセプトに、おかげさまで開業6周年を迎えました。これからもさらに地域に根差し、皆さまに未永く愛して頂ける施設となるよう努めてまいります。
https://irie-keiochofu.jp

お預かりした協賛金は、「映画のまち調布 シネマフェスティバル2024」事業運営等の必要な経費に充当致します。ご支援に、心より感謝申し上げます。

Ac AEON CINEMA

イオンシネマで 浴びる。

圧倒的な臨場感

IMAX
with Laser

IMAX® is a registered trademark of IMAX Corporation.

Ac AEON CINEMA THEATUS CHOFU 京王線「調布駅」すぐ **イオンシネマ シアタス調布**

お終活*再春!
人生ラブソディ

© 2024 年「お終活 再春!」製作委員会

2024年5月31日 金 全国公開!

チケット情報

文化会館たづくり、グリーンホール 上映作品 **全席指定**

前売券500円 当日券800円

『映画の朝ごはん』全席自由 前売券500円 当日券800円

映画のまち調布賞授賞式&『お終活 再春! 人生ラブソディ』1,200円

※開場時間は上映開始の30分前です。

チケットCHOFU

☎042-481-7222

(9:00~19:00、1/22 休み)



WEB予約

チケットぴあ

<https://t.pia.jp/>



窓口販売

●調布市グリーンホール (9:00~19:00 月曜日休館 ※変則あり)

●調布市文化会館たづくり (9:00~21:30 1/22、1/23 休館)

●調布市せんがわ劇場 (9:00~19:00 第3月曜日休館)

※発売初日の窓口販売はありません

イオンシネマ シアタス調布 上映作品

『紅の豚』 **全席指定**

一般・大学生1,300円 高校生以下1,000円

『ラ・ラ・ランド』『ガメラ 大怪獣空中決戦』 **全席指定**

一般・大学生1,100円 高校生以下1,000円

『ザ・スーパーマリオブラザーズ・ムービー』 **全席指定**

一般1,800円、大学生1,500円 高校生以下1,000円

※詳細は中面をご覧ください。※開場時間はシアタス調布の運営に準じます。

e席リザーブ

[上映スケジュール] ページにて該当の日付を選択して購入にお進みください。



劇場窓口

劇場ロビー内チケット売場または自動券売機で購入してください。
※各種割引、無料鑑賞券はご利用いただけません



映画を見たら
得っちゃおう!

半券でいろいろなサービスが受けられる♪



シネマ半券サービス



映画のまち調布
シネマフェスティバル
2024

お会計またはご注文時に、映画のまち調布シネマフェスティバル2024の鑑賞券(半券または全券)を対象店舗にご提示ください。調布シネフェス2024のチケットを持って、映画のまち調布を散策しよう! 調布市内約200店舗でお得なサービスが受けられます。詳しくは、上映会場に設置しているチラシもしくはWEBサイトをご覧ください。

